

第18回 観てさわって 科学、体験 2011 フェスティバル参加報告

フェスティバル参加委員会

委員長	黒河 久悦	(電気電子・情報系技術班)
副委員長	重松 和恵	(機械・環境建設系技術班)
委員	政岡 孝	(実習工場技術班)
委員	森 雅美	(化学・材料系技術班)
委員	平田 智照	(自然科学系技術班)

1. はじめに

「第18回 観てさわって 科学、体験 2011 フェスティバル」が11月12、13日の2日間にわたり開催されました。この催しは、大学が地域社会と連携し、子供たちを中心に自然科学やものづくりの楽しさを通して科学に興味を持ってもらうことを目的とし、科学・技術のおもしろさを体験してもらうもので、工学部と理学部が主催し四国電力株式会社の共催、愛媛県教育委員会、松山市教育委員会等の後援などを受けて実施されている。工学部等技術部では、ストローとペットボトルを使い反発力と羽の工夫をテーマに「ストローロケットを飛ばそう！」で参加しました。

2. 実施状況について

今年も、昨年同様に、工学部5号館の3階リフレッシュコーナーを会場として行われました。両日も、天候に恵まれ1日目250人、2日目300人もたくさんの方に来場いただきました。今回は、子供たちの関心を得られるように、パネルや的を効果音や光でリニューアルしました。又、子供たちは熱心に、翼の形や枚数、ロケットの重心などいろいろ工夫をしていました。今回のペットボトルは、震災の影響等により節約型のやわらかい物が多く、リングの反発力のよい物をいろいろ選んでいました。スタッフを減らした影響もあり、休憩も取れない忙しさと終日対応に追われましたが、協力者の応援もあって大盛況で無事終えることができました。

3. おわりに

この科学体験フェスティバルに参加するにあたり、ご支援いただきました科学体験フェスティバル実行委員会、工学部総務チーム、工学部等技術部技術職員各位に厚くお礼申し上げます。



写真－1 会場風景